

2020年度町田市介護保険事業計画・高齢者福祉計画審議会  
 (重点事業検討部会) の開催結果について (報告)

日時	2020年8月19日(水)18:30~20:00
会場	市庁舎3階 会議室3-1
議題	(1)「(仮称)町田市いきいき長寿プラン21-23」における重点事業について
	ア 介護予防・健康づくりのための通いの場の充実
	<p>&lt;今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響も踏まえ、「通いの場」の立ち上げや活動継続を支援する。</li> <li>・保健部局や国保部局と連携し、より効果的な介護予防・フレイル対策を推進する。</li> </ul> <p>&lt;審議会委員からの主なご意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の参加を促進するためには、「フレイル時期の介入が、健康を取り戻せる」というメッセージが必要だと思う。</li> <li>・コロナ禍の自粛の中で、高齢者が感染リスクから活動を大幅に低下させているという問題について、適切なアナウンスが必要ではないか。</li> </ul>
	イ 高齢者支援センターのネットワーク機能の強化
	<p>&lt;今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が抱える個別の課題や地域に共通した課題の解決に向けて、高齢者に関する相談対応・支援や地域ケア会議の開催といった地域包括支援センターのネットワーク機能を強化する。</li> </ul> <p>&lt;審議会委員からの主なご意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世帯人員が減っていく家庭の中で、引きこもりへの支援等、世帯構造の変化に即した支援が必要になってくるのではないか。</li> <li>・高齢者支援センターの機能を更に強化していくためには、高齢者支援センターの職員が離職せず定着するよう介護人材の面からも支援が必要と思う。</li> </ul>
	ウ 自立支援・重度化防止に向けた取組の推進
	<p>&lt;今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者等の自立支援・重度化防止に向けて、医療専門職、リハビリテーション専門職等多職種協働で取組を進めていく。</li> </ul> <p>&lt;審議会委員からの主なご意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議あるいは支援のネットワークで、より住民に寄り添った、もしくは現実に即した現状を把握していただきながら、施策を立てていただきたい。</li> <li>・短期集中型サービスの対象者は、独居、夫婦のみ世帯等、世帯構成を踏まえ選択することも必要と思う。</li> </ul>

議題	<p>エ 認知症の人やその家族の視点を重視した地域づくりの推進</p> <p>&lt;今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の人やその家族の居場所づくり及び認知症への正しい理解を目的とした普及啓発事業を実施し、「認知症とともに生きるまち」づくりを進める。</li> </ul> <p>&lt;審議会委員からの主なご意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症を地域で支えるために、正しい認識を我々自身が持つことが非常に大事だと思う。</li> <li>・D カフェなど、町田市独自の取組は、社会的にも評価が高く今後も進めてほしい。また、このような地域づくりを、例えばコンビニと連携した情報の集積と支援など、もう少し広げていくことは可能か。</li> </ul>
	<p>オ 多職種による在宅医療・介護連携の推進</p> <p>&lt;今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、協議会や多職種連携研修会を開催し、医療職と介護職の更なる連携強化を図る。</li> <li>・連携支援センターが中心となり、市内の医療・介護連携における課題の把握・解決を促進する。</li> </ul> <p>&lt;審議会委員からの主なご意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携について、より効果的な研修(オンライン研修等)を検討する必要があると考える。</li> </ul>
	<p>カ 介護人材の確保・育成・定着</p> <p>&lt;今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2040年を見据え、中核となる専門人材の育成・定着や、介護人材バンク機能強化による多様な担い手の確保を推進する。</li> </ul> <p>&lt;審議会委員からの主なご意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所は多忙なので研修時間が確保できるのかという問題もあるが、離職予防には研修が役に立つと思う。</li> <li>・介護職員の離職について、何故辞めたのか、次にどこに行ったのかなど、掘り下げて分析して施策に反映していただきたい。</li> </ul>
	<p>キ 効率的な介護保険サービス提供の推進</p> <p>&lt;今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定調査員向けに、認定調査用モバイル端末システムを導入することで、調査の適正化・平準化を目指すとともに付随する業務の効率化を目指す。</li> <li>・指定申請・指導監査に関する文書等の更なる削減や様式の標準化、ICT等の活用を検討する。</li> <li>・事例研究や展示等を通し、介護現場におけるロボット・ICTの活用を促進する。</li> </ul> <p>&lt;審議会委員からの主なご意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護認定調査員支援システムの導入は、認定調査員への教育も必要になると思う。現場の人たちにとって使いやすいかたちで、効率化していただきたい。</li> </ul>